

科目名： 教育心理学（ 講義2単位 ）		担当教員名： 松田侑子	使用テキスト：出版社名・テキスト名 特になし
授業の到達目標及びテーマ： 効果的な教育を実践する上で必要な、心理学の知識を獲得することと、子どもに対する適切な教育的対応を理解できるようになることを目指す。			
授業の概要： * 幼児期～児童期・青年期の子どもにとって、幼稚園や学校は生活の大半を占める重要な場所である。本講義では、幼稚園・学校をはじめとする教育現場に関わる様々な心理学的な現象について学ぶこととする。子どもたちが「学ぶこと」を楽しめるような教育を実現するには、何が必要であるのかを考えていく。			
回	項 目	内 容	
1	オリエンテーション	教育心理学に関する基本的理解を図るとともに、講義全体の内容を通観し、受講生の課題意識を深める。また、授業の進め方についての共通理解を図る。	
2	発達課題と教育	発達の傾向と発達段階、その課題について解説する。また、発達の要因である遺伝と環境についての理解を深める。	
3	子どもの思考と教育	主に、ピアジェの発生的認識論について概説し、各段階の認知的特徴を学ぶ。	
4	子どもの知能と教育	知能の定義や様々な知能理論について解説する。また、知能の測定に用いられる知能検査に関する理解を深める。	
5	子どもの記憶と教育	記憶の分類、記憶の発達、記憶の方路、忘却に関する説明を行う。	
6	学習の心理と教育：学習の原理	学習理論について概説し、それに基づいた教育実践について学ぶ。	
7	学習意欲と教育： 学習に関わる動機づけ	特に自己決定理論を中心として、動機づけに関する基本的な理解を深める。	
8	学習意欲と教育：賞罰の効果	学習意欲を向上させる、もしくは低下させる要因について解説する。また、学習性無力感についても学ぶ。	
9	子どものパーソナリティと教育	パーソナリティの定義、パーソナリティに関する代表的な理論を解説する。また、パーソナリティの測定についても理解を深める。	
10	仲間関係と教育	仲間関係の発達や、学級集団の基本的な特徴について理解を深める。	
11	先生との関係と教育	教師が子どもに与える影響やリーダーシップについて解説する。	
12	心の問題	登園しぶり、不登校、いじめといった、幼稚園や学校で直面する様々なもんだいに関する理解を深める。	
13	発達障害	発達障害、ここでは特に自閉スペクトラム症、ADHD についての正しい理解を深める。	
14	学習理論に基づいた子どもの行動の理解	主に応用行動分析に依拠しながら、発達障害をはじめとする、気になる子どもや問題行動の多い子どもの行動について、三項随伴性の原理・行動の原理から考える視点を習得する。	
15	学習理論に基づいた子どもへの対応	主に応用行動分析に依拠しながら、発達障害をはじめとする、気になる子どもや問題行動の多い子どもへの関わり方について理解を深める。	
参考書・参考資料等： 外山紀子・外山美樹（2010）『やさしい発達と学習』 有斐閣 その他各授業の学習テーマに応じて提示する。			
学生に対する評価方法： 受講態度 45%、試験 55%			